



タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1141		
科目名	生活と法		
担当教員	杉山 幸一		
対象学年	1年,2年	開講学期	前期
曜日・時限	水 4		
講義室	1307	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 〔市民的素養・市民的教養〕 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP7-C 〔他者理解・倫理観・公共心〕 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP3-H 〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 D1 市民的素養と参加(50%) C1 倫理的思考・社会認識(20%) H1 論理的思考(15%) I1 理解・分析と読解(15%)		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進学期～3 発展期		
科目概要・キーワード	私たちの日常生活では、法と切っても切れない関係にあります。人々は日々生活をしている中で法律を意識したことはおそくないと思われます。しかし、ちょっとしたことで法に反する行為をしてしまい、法的責任を追及されることとなりますが、その際法律に違反するとは知らなかったでは済まされません。 そこで、本講義では、学生生活において法律に反する行為とは何なのか、どのようなことをすると法的責任を問われるのか。自分の身は自分で守るため、つまり加害者・被害者にならないための法律知識を取得することを目的とします。 授業形態は(講義・実技・実習・演習)形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 キーワード：法律、生活、法的責任		
授業の趣旨	■副題 学生生活と法律 ■授業の目的 学生生活や社会での法的トラブルについて認識し、法解釈を習得することを目的とします。 ■授業のポイント 学生生活は楽しいことばかりでなく、今までとは学校生活とは異なるトラブルが発生する。学生は自立した生活ができるようになり、法的にも成年となる時期です。そこで、学生生活においてどのような法的トラブルがあるのかを理解する。そのため、法律の基礎や法解釈の基礎を学んだうえで、個別の事例について講義していく。		

総合到達目標	・法律の基礎が説明できる。（第1回～第3回） ・基礎的な法律（憲法、民法、刑法）について説明できる。（第4回～第6回） ・学生生活と法律の関わりやトラブルについて理解できる。（第7回～第11回） ・社会生活における法的トラブルも認識できる。（第12回～第14回）	
成績評価方法	成績評価手段 リアクションペーパー14回（60%）：適用ループリック C1・D1・H1 （評価の観点）授業の内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せるか。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 授業内テスト1回（40%）：適用ループリック D1・I1・H1 （評価の観点）授業の内容を踏まえて、判例六法を使いながら論理立てて明確に自分の考えを示せるか。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。	
履修条件	特になし	
履修上の注意点	特になし	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 （ガイダンス）六法の使い方、参照条文の意味などの理解すること目的とします（D1・C1）。 （イントロダクション）法律とは何か、生活に関連する法律、法的責任（D1）、法律の基本を概観します（H1・I1）。 ③予習（120分） 教科書『法学入門』（有斐閣）の第1章、『判例六法』（有斐閣）で憲法、刑法、民法の条文を読まなければならない。 ④復習（120分） 授業を振り返り、目的や到達目標を確認し、理解しなければならない。
	2	①授業テーマ 法律と社会の関係 ②授業概要 法律は市民社会を規律する社会規範であり、人々の行為を規律する行為規範です。そこで、社会規範としての法律と行為規範としての法律について、具体例を交えながら説明できるようになることを目指します（D1・C1）。さらにこの法律を具体的事件に適用し、解決するのが裁判（訴訟）です。裁判所の構成や役割、訴訟制度について説明できるようになることを目的とします（D1・C1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『法学入門』（有斐閣）の第2章の1を読み、裁判制度の全体像を確認する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、日本の裁判制度を理解し、裁判制度の構成について考える。
	3	①授業テーマ 法律と強制 ②授業概要 法律は、強制を本質とします。なぜ法律に強制が必要となるのか説明できるようになることを目的とします（D1・C1）。わが国で行われている法律による強制手段、すなわち制裁方式について説明できるようにします（D1・C1）。国家社会を規律するために法に強制力が備わっていることの意義について考察できるようになることを目的とします（H1）。 ③予習（120分） 教科書『法学入門』（有斐閣）の第1章の1と2を読み、法律と強制の関係について確認する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、強制とは何か、その必要性について考えなければならない。
	4	①授業テーマ 生活と憲法（国家による人権保障、自由権、社会権） ②授業概要 憲法は国家の基本となる法です。そこで、立憲主義や憲法の基礎となる原理を中心に講義し、生活と憲法の関わり、立憲主義とはどのようなものなのかについて考察します（D1・H1・I1）。さらに、憲法による人権保障、特に生活に密接に関連する自由権、社会権を中心に人権と社会説かとのかわりに考察する（D1・H1・I1）。 ③予習（120分） 教科書『法学入門』（有斐閣）の第2章の4を読み、憲法の基本的な内容について確認する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、国家と憲法の関係と歴史、立憲主義の本質について、国家という社会の枠組みを通して考える。
	5	①授業テーマ 生活と民法－民法の基本原則と権利主体－ ②授業概要 市民生活の基本法は、民法です。民法の基本原則、民法上の権利やその権利主体を概観します

	(D1・C1)。また、生活で重要な「契約」や「不法行為」について、具体例を交えながら講義します(D1・H1・I1)。 ③予習(120分) 教科書『法学入門』(有斐閣)の第2章の2を読んでくる。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、民法の基礎、契約や不法行為と社会とのかかわりについて考える。
6	①授業テーマ 生活と刑法(基本原理、犯罪論、刑罰の種類、主な犯罪、犯罪の実情) ②授業概要 犯罪と刑罰に関連して、刑法の基礎、近代刑法の基本原則である罪刑法定主義、責任主義について学び、刑事法全体の基礎について学修します(D1・C1)。さらに、犯罪の成立要件、刑罰の種類、主な犯罪を講義します(D1・C1・I1)。 ③予習(120分) 教科書『法学入門』(有斐閣)の第2章の3を読んでくる。 ④復習(120分) 刑法の基本原則について確認し、それらが表れている規定について指摘する。
7	①授業テーマ 学生生活と法律①(消費者被害、詐欺) ②授業概要 この回からより具体的な法律問題、とくに学生生活と関係するものについて講義します。今回は、消費者という弱い立場につけ込んで不利な契約を結ばせることによって生じる消費者被害、アルバイトと称して手に染めてしまう特殊詐欺やその被害にあう場合などを取り上げ、学生が加害者・被害者になったときの法的責任や法的対処について学修します(D1・C1・H1)。 ③予習(120分) 教科書『法学入門』(有斐閣)の第3章の2を読んでくること ④復習(120分) 講義ノートを確認し、法務省・警察庁などのHPや消費者センターのHPを見て、加害者・被害者にならないように考察する。
8	①授業テーマ 学生生活と法律②(交通事案、窃盗) ②授業概要 今回は、交通関係、窃盗、著作権について講義します。18歳以上で運転免許を取得でき、行動範囲が広がり学生時代は友達同士などでドライブに出かける機会が多くなります。そんなときに交通事故を起こしてしまった場合、どのような法的責任を負うのか、被害者にいくら支払わなければならないのか、さらに飲酒の機会も増えるのも学生の特徴であり、万が一お酒を飲んで運転し事故などを起こした場合の法的責任も考察します(C1・H1)。また、他人の持ち物を持ち去る、万引といった窃盗などの犯罪について学修します(D1・C1・H1)。 ③予習(120分) 国土交通省『自動車安全情報』 (https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/04relief/accident/correspondence.html)、都道府県警の窃盗に関するHPなどを見てくること。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、自分が加害者にならないためにはどのようにすべきか考える。
9	①授業テーマ 学生生活と法律③(いじめ、SNS上のトラブル、出会い系アプリ) ②授業概要 今回は、いじめ、SNS上のトラブル、出会い系アプリ、ストーカーといった人間関係に関することについて講義します。今までの学校生活などでのいじめは法的にはどのようなものなのか、いじめを受けた場合法的手段をどのように使うのかを講義します(C1・H1)。また、SNS上での炎上や名誉棄損、そしてその延長にあるリアルに会うことでのトラブル、マッチングアプリでのトラブルなどの被害者、加害者にならないための法的知識を学修する(D1・C1・H1)。 ③予習(120分) 文部科学省HP(例えば、 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo1/gijiroku/attach/1337765.htm)を確認する、SNSなどのトラブルについては都道府県警や警察庁HPを確認してくる。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、自分が加害者・被害者にならないためにはどのようにすべきか考える。
10	①授業テーマ 学生生活と法律④(コンパなど飲酒によるトラブル、就活上のトラブル) ②授業概要 今回は、コンパなど飲酒によるトラブル、就活上のトラブルについて講義します。飲み会や就活で学生が被害にあうことが後を絶ちません。サークルやゼミでの食事会、飲み会でのトラブルを紹介し、被害の実態について講義します(C1・H1)。また、多くの学生が気になっているであろう就職活動で、採用される側である学生は立場が弱く、それに漬け込みトラブルにあうことが多いので、具体的な事例を紹介しながら講義します(D1・C1・H1)。 ③予習(120分) 学生生活ガイダンスの資料を読んでくる。

	④復習（120分） 講義ノートを確認し、自分が加害者・被害者にならないためにはどのようにすべきか考える。
11	①授業テーマ 学生生活と法律⑤（ストーカー、DVやセクシャル・コンセントなど恋愛関係におけるトラブル） ②授業概要 今回は、ストーカー、デートDVについて講義します。恋愛関係になった者同士、あるいは一方的に好意を持ち、付きまとい等の行為により、迷惑や被害を受ける学生が多い。そこで、ストーカーとは何か、法的な対処などどのようなものがあるのか考察する（D1・C1）。また、恋愛におけるトラブルとしてセクシャル・コンセント（性的同意）やDV、性暴力などを講義し、自分を守るための法律知識について学修します（D1・C1・H1）。 ③予習（120分） 資料として「あなたらしく大学生活を送るための方法」を前週に配布しますので、読んでくる。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自分が被害者にならないための法的知識を確認し、どう対処すべきか考える。
12	①授業テーマ ライフサイクルと法律（出生から死まで） ②授業概要 人間は出生して、未成年時代を過ごし、成人として自立し、そしていつか死を迎える。このような人間の一生に法律は深くかかわってきます。人生に法律がどのようにかかわってくるのか講義します（D1・C1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『法学入門』（有斐閣）の第3章の1を読んでくる。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自分の人生において法律がどのようにかかわってくるのか考える。
13	①授業テーマ 社会生活上のトラブル①（婚姻、離婚・DV、相続） ②授業概要 前回のライフサイクルと法律に続いて、家庭に関する法律を講義します。婚姻、離婚、DV、相続と家庭に関して法的トラブルが発生することが多い。そこで、民法の親族・相続について理解した上で、家庭での法的トラブルについての対処や解決などを学修する（D1・C1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『法学入門』（有斐閣）の第3章の1（6）（9）を読んでくる。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、家庭と法律がどのようにかかわってくるのか考える。
14	①授業テーマ 社会生活上のトラブル②（労働問題、アルバイト問題） ②授業概要 社会で生きていくためには仕事をし、収入を得なければなりません。就職した先の企業でハラスメントや契約上のトラブルが発生します。また、学生時代などでのアルバイトで不当な扱いを受ける、いわゆるブラックバイトなどもある。賃金や就労時間、サービス残業などの労働問題についての基礎を学修する（D1・C1・H1）。 ③予習（120分） 教科書『法学入門』（有斐閣）の第3章の1（6）（9）を読んでくる。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、仕事と法律がどのようにかかわってくるのか考える。
15	①授業テーマ 生活と法のまとめ ②授業概要 14回の授業で学んできたことを総括し、学生生活における法律の存在について確認するため授業内試験を実施します（1時間、D1・I1・H1）。授業内試験終了後、試験内容について解説を行います（30分）。 ③予習（120分） 講義ノート全体を読み直す。 ④復習（120分） 講義ノートを読み返し、自分の生活にいかんにか法律が関わってくるか、加害者・被害者にならないためにどうすべきか考える。
関連科目	法学概論（RMGT1401S/RMGT1401）
教科書	『判例六法（最新版）』（有斐閣）、『法学入門』（有斐閣）
参考書・参考URL	『学生生活の法学入門』（弘文堂）、『学生生活と法学』（有斐閣）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日1限 それ以外の時間については、講義後にアポイントメントをとってもらい、研究室で対応します。

研究比率	
------	--

